１．県民アンケート調査について

（１）．調査の目的

本調査は、令和3年3月31日に公表した「浦添ふ頭地区における民港の形状案」について、県民の意見を聴取し、今後予定する長期構想や港湾計画改訂に向けた参考とするために実施した。

（２）．調査対象

沖縄県在住の15歳以上の方を対象とした。

（３）．調査方法

以下の2通りの方法で実施した。

①モニター調査（モニター登録者へのWEB配信調査）

②オープン調査（当組合HP掲載によるオープン調査）

（４）．調査期間

令和3年6月12日（土）9時から27日（日）17時まで

（５）．質問内容（問1～問6：選択形式、問7：自由記述）

問1　あなたの居住地を教えてください。

問2　あなたの年齢を教えてください。

問3　あなたの性別を教えてください。

問4　沖縄の歴史と港は密接に関係し、時代の要請に対応して港のあり方・規模も変化してきました。このことをご存じでしたか。

問5　物流・貿易の拠点として那覇港の機能を強化することの重要性について、認識を深めることができましたか。

問6　交流・賑わいの拠点として那覇港の機能を強化することの重要性について、認識を深めることができましたか。

問7　浦添ふ頭地区の民港の形状案について、ご意見がありましたらお聞かせください。

2. 県民アンケート調査結果（総評）について

●令和3年6月12～27日に、15歳以上の県民を対象として、無記名でのモニターとｵｰﾌﾟﾝの2種類の方法で、自由記述形式により実施した。
●回答数は、3,026件であった。
●今回の調査目的は、統計的な分析を行って数値の大小による判断を行うものではなく、長期構想や港湾計画等におけるハード・ソフトの取組の検討の参考とするためのもの。
●浦添ふ頭地区の民港形状案に対して地域振興を期待する意見や開発内容に関する意見、環境保全への配慮、他港での対応を求める意見等、幅広い意見を頂いた。

3－1. 属性及び調査結果について

（1）. 属性について

問1　居住地については、那覇市が30.4%で最も高く、次いで中部地区が27.4%、南部地区が17.5%となっている。（図-1）
問2　年齢については、40代が22.6%で最も高く、次いで50代が22.1%、30代が20.6%となっている。（図-2）
問3　性別については、男性が50.6%、女性が47.6%、不明が1.8%である。（図-3）

回答者居住地

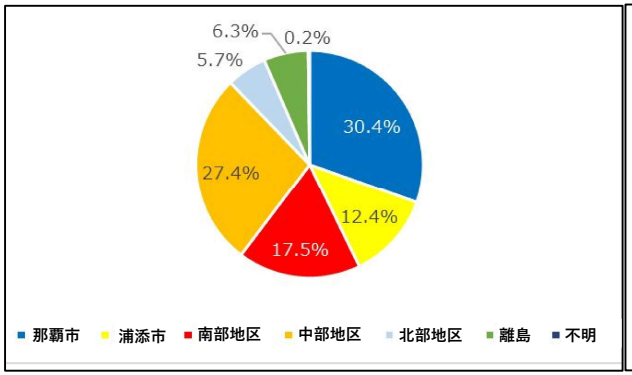


図-1

年代別回答者

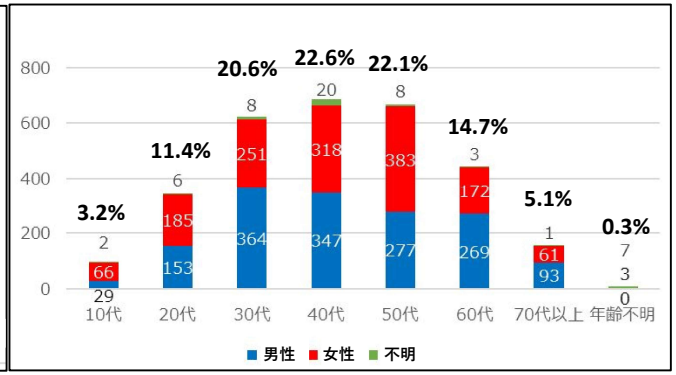


図-2

回答者男女比

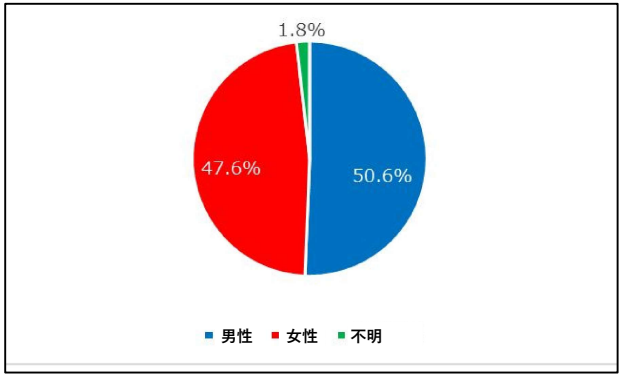


図-3

３－２. 属性及び調査結果について

（2）. 調査結果について

問4　沖縄の歴史と港は密接に関係し、時代の要請に対応して港のあり方・規模も変化してきたことへの認知度について

沖縄の歴史と港の関係についての認知度は、「知っていた（やや知っていた）」の割合は49.0%で、「知らなかった（あまり知らなかった）」が39.4%、「どちらとも言えない」が11.3%であり、未回答が0.3%であった。（図−4）

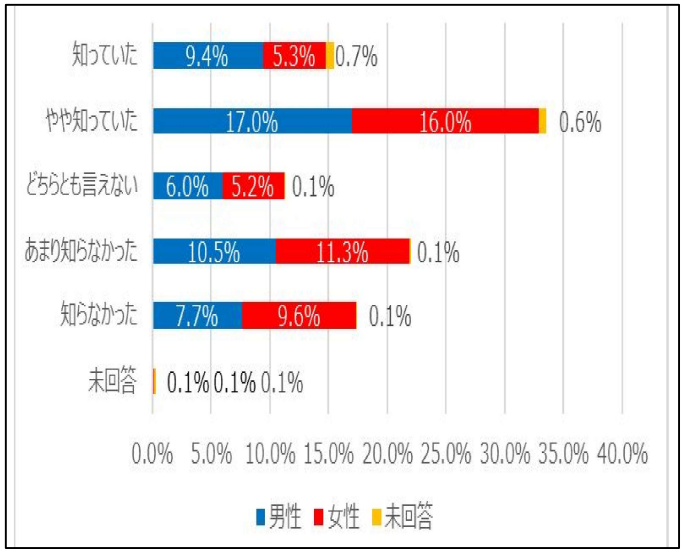
問5　物流・貿易の拠点として那覇港の機能を強化することの重要性について、認識を深めることができたかについて

物流・貿易の拠点としての機能強化の重要性について、「認識を深めることができた（やや認識できた）」の割合69.6%で、「認識できない（あまり認識できない）」が12.5%、「どちらとも言えない」が17.5%であり、未回答が0.4%であった。（図−5）

問6　交流・賑わいの拠点として那覇港の機能を強化することの重要性について、認識を深めることができたかについて

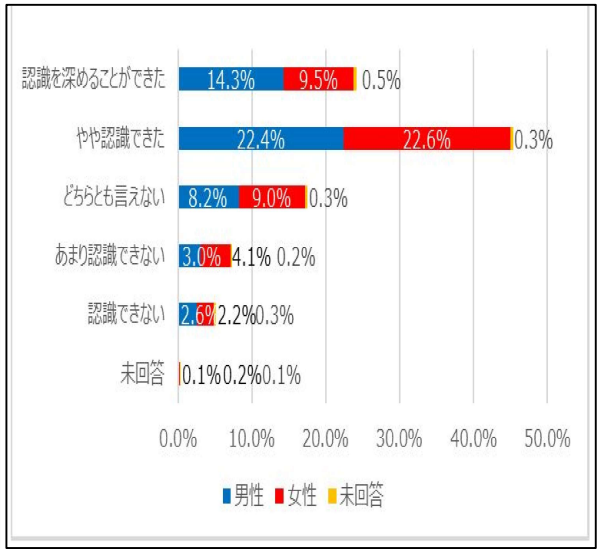
交流・賑わいの拠点としての機能強化の重要性について、「認識を深めることができた（やや認識できた）」の割合は70.4%で、「認識できない（あまり認識できない）」が12.4%、「どちらとも言えない」が16.9%であり、未回答が0.4%であった。（図−6）

沖縄の歴史と港の関係



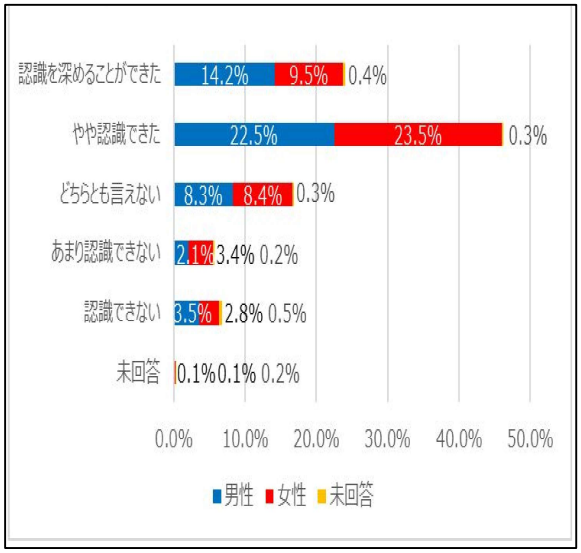
図−4

物流・貿易の拠点としての機能強化の重要性



図−5

交流・賑わいの拠点としての機能強化の重要性



図−6

３－３．属性及び調査結果について（問7関連）

地域振興を期待する意見	キンザー跡地前面を交流・賑わい空間にする等の観光・景観への配慮や、自然環境への配慮された形状である点を評価するもの
	現状の港湾混雑の解消に向けて期待するもの
	沖縄県、地元・浦添市のコロナ収束後の物流・観光への対応や将来の発展を支えるために重要とするもの
	県民の憩いの場になることを期待するもの
	アジアの中継拠点港としての発展に期待するもの
開発内容に関する意見	物流空間のみ整備して交流・賑わい空間は自然海岸とすべき、物流空間の部分もクルーズ船ふ頭にして全て交流・賑わい空間にすべきとするもの
	マリンレジャーやバーベキュー、スポーツ施設、公園等、交流・賑わい空間に係る施設構成に関するもの （個別施設について必要／不必要の両方）
	モノレールの延伸や駐車場の確保等、交通アクセスの強化に関するもの
	交流・賑わい空間からの視界にできるだけ物流空間が入らない等の景観への配慮に関するもの
	沿岸の道路の立体化やキンザー跡地からのアクセス道路整備等、キンザー跡地との一体的利用に関するもの
環境保全への配慮、 他港での対応を求める意見	現在の海岸への愛着や生態系の状況等を踏まえ、埋立全般に反対、現状のままが良いとするもの
	自然環境への影響の懸念や不安等、自然環境保全に関するもの
	新港ふ頭等の拡張や効率的利用、中城湾港等の他港の利用で対応すべき（対応できるのではないか）等、既存施設での対応を求めるもの
	新港ふ頭等で未開発用地が残っている中で、浦添ふ頭への展開は時期尚早ではないかというもの
	観光偏重の将来戦略は不適切であるとするもの
その他	「特になし」、「意見なし」、「わからない」
	趣旨不明の回答、民港形状案に関係のない回答　等